The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	中国語「動詞・名詞コロケーション」産出テスト開発の試み ： JSLの子どもの母語・継承語での調査に向けたパイロットテスト
Author(s)	王, 丹叶; 西川, 朋美
Citation	母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）研究. 2022, 18, p. 125-137
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/91729
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

≪研究ノート≫

中国語「動詞・名詞コロケーション」産出テスト開発の試み

— JSLの子どもの母語・継承語での調査に向けたパイロットテスト —

王 丹叶（お茶の水女子大学大学院 博士後期課程）
wangdanye77@gmail.com
西川 朋美（お茶の水女子大学）
nishikawa.tomomi@ocha.ac.jp

Developing a test of Chinese "verb & noun" collocations:

A pilot test for testing JSL children in their first/heritage language

WANG Danye & NISHIKAWA Tomomi

要　旨

本稿は、西川・青木（2018）の日本語の名詞・動詞コロケーションテストの中国版を試作し、中国語母語話者（成人）15 名と日本語を母語とする中国語学習者（高校生・成人）21 名を対象に実施したパイロット調査の報告である。本研究の最終的な目的は、日本在住の日本語を第二言語とする子ども（JSL の子ども）を対象に、日中二言語でコロケーションテストを実施することである。本稿でのパイロット調査の結果、日本語版をもとに作成した中国語版 70 アイテムのうち、中国語母語話者の正答率が低いアイテムが 14 アイテムあった。正答率が低いアイテムとしては、日本語から中国語に置き換えるのが難しい自動詞アイテムのように、語彙化や翻訳語の問題に関わる例も見られた。また、中国語学習者の誤答には、母語である日本語からの転移とみられる例もあった。これらの結果をもとに、コロケーションの知識を日中二言語で測るテストの可能性と課題を検討する。

Abstract

In this article, we developed a Chinese version of the Japanese "verb & noun" collocation test by Nishikawa and Aoki (2018) and piloted the Chinese test with 15 native speakers of Chinese (adults) and 21 Japanese learners of Chinese (high school students and adults). Our study ultimately aims to investigate collocational knowledge both in Japanese and Chinese among children who live in Japan and speak Japanese as a second language (JSL children). The results of this pilot study show that among the 70 items in the Chinese test, which were developed based on the Japanese version, 14 items showed low accuracy rates among native speakers of Chinese. Some of these cases appeared to be related to lexicalization and translation problems, such as intransitive-verb items that were difficult to translate from Japanese to Chinese. Additionally, some of the Chinese learners' errors were considered negative transfers from their first language; Japanese. Based on these results, we discuss the possibilities and challenges of developing bilingual tests that measure collocational knowledge in Japanese and Chinese.

キーワード：母語・継承語、中国語、コロケーション、テスト開発

1．はじめに

近年、日本でも複数言語環境で育つ子どもたちが増えており、日本語が教育の媒介言語となっている学校においては、まずは日本語の習得が目指されている。そこで、西川・青木（2018）は、日本で生まれ育った日本語を第二言語とする（JSL: Japanese as a Second Language）子どもを対象に、日本語の名詞・動詞コロケーション[1)]（以下、コロケーション）の産出調査を行った。同調査では日本語モノリンガル（以下、Mono）の子どもにとって簡単な和語動詞のみを調査対象としているが、日常会話では流暢な日本語を話すJSLの子どもの中にも、一部のコロケーションの産出を苦手とする子どもがいたことが報告されている。それらの語を知らないことで日本語での学校・社会生活において困難が生じる可能性があるのであれば、日本語指導・支援の必要性が叫ばれる部分であろう。

西川・青木（2018, p.152）は上記調査結果について、JSLの子どもは家庭場面で使われる語など、日本語でのインプットが少ない語が苦手である可能性を議論している。バイリンガルが２言語の語彙を場面によって使い分けているのであれば（Valdés, 1995, Figure 7）当然の結果とも言えるが、母語[2)]での調査については今後の課題であるとしている（西川・青木、2018, p.157）。母語には、最初に習得した言語、最も能力が高い言語など、複数の定義が考えられる（Skutnabb-Kangas, 1984）。本稿では、生まれて最初に親から習得したにもかかわらず現在は限られた能力しか持っていない言語[3)]である場合も含めて捉える際には、「母語・継承語」と併記する。

Pearson（1998）は、バイリンガルの子どもの語彙力に関するそれまでの研究のレビューの中で、子どもが一方の言語でしか知らない語（＝“singlet”）があるため、語彙力は両言語で把握する必要があると指摘している。例えば、Peabody Picture Vocabulary Test（PPVT）という標準化された英語語彙テストには、スペイン語版（TVIP）が存在し、英西２言語での調査も行われている（Umbel, Pearson, Fernández & Oller, 1992）。ただし、各言語のテストのアイテム数や内容の違いなどにより、両言語のテスト結果は単純に比較可能ではないことも指摘されている（Pearson, 1998, p.359）。この指摘は、これらのテストが研究や発達遅延の診断などを目的に、バイリンガルの子どもの全体的な語彙力（語彙サイズなど）の把握を試みている際には特に問題になる[4)]。本研究の中国語版コロケーションテストは、中国語での全体的な語彙力の把握が目的ではなく、あくまで特定の動詞の産出の知識を問うものである。この点は、オリジナルの日本語版も同様である。しかしながら、特に一言語で開発されたテストを他言語でも実施する際には、一方の言語でのみ語彙化（lexicalized）され、他方の言語で語彙化されていない語についての問題（Umbel et al., 1992, p.1014）や、言語によって表現が異なり完全な翻訳語が見つからない場合があるという問題（Pearson,1998, p.361）があり、それらは本研究においても問題となることが予想される。

JSLの子どもの日本語力を測るツールとしては、例えば文部科学省の委託事業として東京外国語大学が開発した「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA（Dialogic Language Assessment）」がある。このツールは日本語以外の言語でも活用可能なため、日本語と母語・継承語の両方の力を測ることも可能である（櫻井 , 2019）。「対話型」とあるように、DLAの特徴はテスターとの対話を通じて子どもの４技能の言語能力を測定することにある。一方、本研究のコロケーション

テストは、DLA のように子どもの総合的な言語能力を測るものではない。あくまで特定の動詞の産出の知識を問うもので、子どもが苦手としている具体的な言語項目を可視化することが目的である。

本研究は最終的に日本在住の JSL の子どもを対象に、西川・青木（2018）の調査を日中２言語で実施することを目指す。その最初のステップとして、本稿では、西川・青木（2018）のテストを中国語に翻訳したテストを開発し、その開発過程を報告する。中国語母語話者（成人）や日本語を母語とする中国語学習者（高校生・成人）を対象としたパイロットテストの結果から、コロケーションの知識を日中２言語で測るテストの可能性と課題を検討することが本稿の目的である。特に先行研究で指摘のある語彙化や翻訳語の問題について、日中２言語における問題を具体的に検討する。

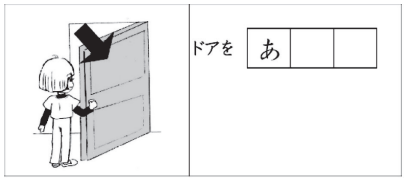
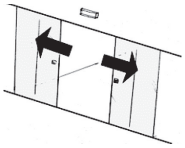
２．調査方法

2.1 日本語版テストの概要

本稿の中国語版テストの作成･採点方法のもとになっている西川･青木（2018）の日本語版コロケーションテストでは、日本語を母語とする幼児の縦断的発話資料（岩淵･村石 , 1976）に出現する語を、Mono の子どもが母語習得過程で自然に身につける簡単な語としている。調査対象としている和語動詞は計 31 語であるが、多義動詞（例：きる、さす）が含まれているため、テストは計 70 アイテムである。対象となる動作や動きはイラストで示され、動詞はマス目の数に合わせて、ひらがなで回答するようになっている。

各アイテムには、１つの動詞が模範解答として想定されている[5]が、複数の動詞が正答となりえることが最初から予想されたアイテムでは、動詞の一部の文字が指定されている（表１参照）。それでも実際には様々な回答が見られたため、採点の際は想定された動詞だけでなく、イラストの描写として問題なく、日本語として自然な動詞の使用であれば正答として扱っている。不完全であっても十分に読み取れる文字や、動詞のテ形、タ形も、文字数があっていれば正答として扱っている（西川・青木、2018, p.47）。

表１　日本語版と中国語版のアイテムの例（イラストは日中共通）

	日本語版（西川・青木、2018）	中国語版	
指示	えを見て、口（しかく）の中に、ひらがなでかきましょう。	看图写话。请按照图片，在____中填入想到的动词。（絵を見て、____に思いついた動詞を入れてください。）	
例		他動詞アイテムの例 ____门	自動詞アイテムの例  门____

2.2 中国語版テストの作成

中国語版テストの作成にあたっては、まず日本語版テストを中国語に翻訳した。最初に筆者の一人

（中国語母語話者）[6] が、日本語版テスト（模範解答の動詞も含んだ文全体）を一通り中国語に翻訳した。この段階の作業において、日本語版と最も対応する中国語の表現として、１つの動詞のみに限定されるものと複数の動詞が考えられるものがあった。翻訳作業では、日本語版と対応する中国語の表現全てを模範解答として扱うことにした。次の段階では、日本語版との対応の適切さ、翻訳された中国語の自然さ、筆者が翻訳した動詞以外の中国語の表現の有無について、筆者と他の中国語母語話者（日本語教育経験者）計３名で検討した。その際、地域（主に中国北部と南部）による差異がある場合（例：帽子をとる→北：摘帽子、南：摘 / 脱帽子）、そのどちらも模範解答として扱った。

その他、翻訳の際に問題が生じたのは主に日本語版の自動詞アイテムである。日本語の基本語順は SOV であるが、中国語の基本語順は SVO であり、自他動詞の区別がない。日本語では、自動詞「ドアがあく」も他動詞「ドアをあける」も「名詞＋動詞」の語順は変わらないが、中国語の場合「开门（＝ドアをあける）」「门开了（＝ドアがあく）」となり、名詞「门」と動詞「开」の語順が逆になる（表１中・右参照）。また、日本語の自動詞の意味を保ちつつ自然な中国語にするには、一部の動詞ではアスペクト助詞「了 (le)」を付け加える必要がある（例：ドアがあく→门开了）。また、その他にも、結果補語を含む複合動詞になる場合（例：スピードがおちる→速度变慢）や、さらに、複合動詞とアスペクト助詞両方とも必要な場合もある（汚れがおちる→污渍去除了）。今回、アイテムの翻訳の際には、できる限り日本語の意味に合わせるようにしたが、そのことの是非は本稿末で議論したい。

2.3 中国語版テストと日本語版の主な違い

中国語版テストはアイテムの数（70 アイテム）も提示順も日本語版と同様である。

日本語版との主な違いとして、まず、日本語版には語注はなかったが、今回の調査では、中国語版は初級学習者も多く回答する予定であったため、初級学習者にとって難しいと思われる単語には日本語注を付けた。そして、回答の際には辞書を使わず、わからない単語があったら備考欄に明記するよう指示した。これらの指示は日本語版にはなかった。

次に、日本語版は紙媒体であるが、中国語版はオンラインで実施した。海外にいる協力者も含まれていたことや、新型コロナウイルスの流行により日本国内での対面調査の実施が困難な状況であったためである。回答の入力の際には、漢字でもピンインでも可とした。

また、日本語版ではアイテムの文字数に制限があったが、中国語版では文字数を制限しなかった。その理由の一つは、2.2 節で述べたように、日本語版の１つの動詞に対応する中国語の表現が複数あるような場合があり、複数の表現の文字数が違う場合もあるためである（例：おかあさんが私にプレゼントをくれる→妈妈给 / 送 / 送给我礼物）。もう１つの理由は、最終的に JSL の子どもに実施する際には、母語・継承語では読み書きができない可能性も高く、動詞の部分は口頭で自由産出させるような方法を想定しているからである。

さらに、日本語版では一部のアイテムでは複数の動詞が正答となりえることが最初から予想されたため、想定された回答（模範解答）を導き出すために一部の文字が指定されているが、中国語版では文字の指定はしなかった。その理由は、音を表すひらがなとは異なり意味を持つ漢字をヒントとして提示することで、正答そのもの、あるいは正答の一部を示すことになるからである。ピンインを提示してもほぼ正答を示すことになってしまい、さらに前述のように複数の模範解答が想定される場合、ピンインの指定も難しいためである。

2.4 調査対象者

今回作成した中国語版テストの有効性を確認するため、日本語学習経験のない中国語母語話者（Chinese Native Speaker、以下 CNS）大人 15 名にテストを実施した。加えて、言語間干渉を含め誤答の傾向を確認するため、日本語を母語とする中国語学習者（Japanese Chinese Learner、以下 JCL）21 名（高校生 10 名、大人 11 名）も対象とした。JCL の学習暦は最短１年、最長８年、平均 3.16 年、標準偏差 1.55 である。中国滞在歴は０から３年４ヵ月、平均 0.53 年、標準偏差 1.00 である [7)]。中国語レベルは学習者自己評価で初～中級であるが、その内訳は漢語水平考試（HSK）４級５名、５級４名、６級２名、中国語検定試験（中検）４級１名、中国語の資格を何も持っていない学習者９名である [8)]。

2.5 調査実施の手順

JCL には中国語版テストの Google Form のリンク、CNS には同じテストの Microsoft Form のリンクをメールで送付した [9)]。リンクの有効期間は３週間（2021 年２月～３月）とし、対象者全員にオンラインで回答してもらった。回答時の時間制限は設けなかった。

2.6 中国語版テストの採点方法

日本語版の採点方法（西川・青木、2018, p.47）に倣い、中国語版も２段階で採点をした。一段階目では、表２に示した中国語版の模範解答をもとに筆者が正答を判定した。二段階目では、模範解答として想定されていないものであってもイラストの解釈として問題なく動詞での自然な回答、変換ミスだと思われる回答 [10)]、動詞以外の要素も入っているがコロケーションの部分は正しいというような回答も正答だと判定した。その後、正答とされる回答の自然さの確認、地域（主に北と南）の差異により誤答とされた回答の確認 [11)] のため、筆者とその他の中国語母語話者２名（2.2 節の中国語版テスト作成時と同じ人物）、計３名で採点を見直した。点数は、正答を１点、それ以外の回答を０点とし、70 点満点である。以下、結果は、二段階目での採点の数値について報告する。

３．結果

3.1 全体的な結果

CNS の得点は平均 62.60 点で、標準偏差 4.19 である。JCL の得点は平均 34.24 点であり、標準偏差 14.88 である。テストの信頼性について、*Cronbach* の α 係数は JCL が .96 という高い数値を示しているが、CNS は .75 でやや低めである。

CNS（15 名）と JCL（21 名）の各アイテムの正答率を表２に示す。アイテムの提示順は日本語版（西川・青木、2018, pp.220-237）と同じである。「1. 看书 (本をよむ)」を例に説明すると、「看书」が今回のテストで使われた中国語版テストのアイテムで、（）内の「本をよむ」がもとの日本語版テストで使われたアイテムである。それぞれ解答となる動詞の部分を下線で示している。なお、模範解答が複数あるアイテムもあるが、ここでは便宜上１例のみを掲載する。全アイテムのイラストは、西川・青木（2018）の巻末資料を参照されたい。

表２にあるように、全部で 70 のアイテムのうち 56 のアイテムで CNS の回答率が高い（正答率

86% 以上、15 名のうち 13 名以上が正答)。これらのアイテムでは、翻訳語やイラストの解釈の問題などが見られなかったと判断され、中国語版テストのアイテムとして使用可能であると考えられる。一方、網掛けをしているのは CNS の正答率が 80% 以下（15 名のうち３名以上が誤答）のアイテムである。これについては次節で述べる。

表２　模範解答例とアイテムごとの正答率（単位：%）

アイテム	正答率		アイテム	正答率	
	CNS	JCL		CNS	JCL
1. 看书（本をよむ）	100	100	17. 把衣服挂到衣架上（ハンガーに服をかける）	100	61.90
2. 穿衬衫（シャツをきる）	100	76.19	18. 孩子从妈妈那里得到礼物（子どもがお母さんにプレゼントをもらう）	100	33.33
3. 在公园跑步（公園ではしる）	100	76.19	19. 系头巾（はちまきをしめる）	93.33	28.57
4. 开门（ドアをあける）	86.67	95.24	20. 洗牌（トランプをきる）	93.33	23.81
5. 插插座（コンセントをさす）	93.33	42.86	21. 患感冒（風邪をひく）	73.33	23.81
6. 盖被子（布団をかける）	100	19.05	22. 用手指黑板（指で黒板をさす）	86.67	52.38
7.5 减 3(5 から 3 をひく)	100	57.14	23. 花开了（花がさく）	100	80.95
8. 穿鞋子（靴をはく）	93.33	76.19	24. 树被风吹倒（木が風でたおれる）	100	9.52
9. 沥水（水をきる）	53.33	0	25. 摘眼镜（眼鏡をとる）	93.33	52.38
10. 系扣子（ボタンをかける）	100	28.57	26. 戴帽子（帽子をかける）	100	47.62
11. 速度变慢（スピードがおちる）	53.33	23.81	27. 污渍去除了（汚れがおちる）	60	52.38
12. 妈妈送给孩子礼物（お母さんが子どもにプレゼントをあげる）	93.33	90.48	28. 穿裤子（ズボンをはく）	73.33	61.90
13. 扎针（針をさす）	80	38.10	29. 上锁（鍵をかける）	60	28.57
14. 拉网（網をひく）	86.67	42.86	30. 打泡沫（泡をたてる）	86.67	4.76
15. 建新房子（新しい家がたつ）	93.33	47.62	31. 阳光照射（日がさす）	66.67	42.86
16. 往签子上串鱼（串に魚をさす）	86.67	28.57	32. 弹钢琴（ピアノをひく）	100	90.48
33. 从椅子上站起来（椅子からたつ）	93.33	71.43	52. 打伞（傘をさす）	93.33	38.10
34. 划船（ボートをこぐ）	100	14.29	53. 脱鞋（靴をぬぐ）	100	66.67
35.2 乘 3(2 に 3 をかける)	100	38.10	54. 撒盐（塩をかける）	100	57.14
36. 挂电话（電話をきる）	73.33	38.10	55. 在台阶上摔倒（階段でころぶ）	93.33	14.29
37. 妈妈送给我礼物（お母さんが私にプレゼントをくれる）	100	90.48	56. 蒸米饭（ご飯をたく）	93.33	52.38
38. 门关了（ドアがしまる）	93.33	61.90	57. 起泡沫（泡がたつ）	0	28.57
39. 拉雪橇（そりをひく）	93.33	38.10	58. 系鞋带（ひもをむすぶ）	100	38.10
40. 系安全带（シートベルトをしめる）	100	14.29	59. 在公园走路（公園であるく）	93.33	100
41. 用吸尘器（掃除機をかける）	73.33	38.10	60. 抽签（くじをひく）	100	14.29
42. 坐在椅子上（椅子にすわる）	100	85.71	61. 门开了（ドアがあく）	100	90.48

アイテム	正答率		アイテム	正答率	
	CNS	JCL		CNS	JCL
43. 脱衣服（服をぬぐ）	86.67	71.43	62. 戴眼镜（眼鏡をかける）	100	57.14
44. 苹果从树上掉落（リンゴが木からおちる）	100	66.67	63. 解扣子（ボタンをはずす）	93.33	14.29
45. 关门（ドアをしめる）	100	66.67	64. 摘帽子（帽子をとる）	100	61.90
46. 建桥（橋をかける）	46.67	47.62	65. 划线（線をひく）	93.33	23.81
47. 查字典（辞書をひく）	100	61.90	66. 插旗子（旗をたてる）	100	14.29
48. 点眼药水（目薬をさす）	100	33.33	67. 打电话（電話をかける）	100	66.67
49. 关电灯开关（電気のスイッチをきる）	66.67	38.10	68. 解鞋带（靴ひもをほどく）	100	33.33
50. 建房子（家をたてる）	86.67	52.38	69. 在泳池游泳（プールでおよぐ）	100	85.71
51. 发动汽车引擎（車のエンジンをかける）	80	57.14	70. 剪纸（紙をきる）	100	42.86

3.2 CNS の正答率が低いアイテム

この節では、CNS の正答率が低いアイテムに目を向ける。CNS の正答率が低い場合、そのアイテム自体に何らかの問題があると考えられる。CNS の正答率が 80% 以下の 14 アイテムの内訳は、中国語の動詞自体の難易度が高いもの（９番）、日本語版の自動詞アイテム（11.27.31.57 番）、イラストの解釈として日中両言語の視点が異なるもの（13 番）、イラストの読み取りが難しいと思われるアイテム（21.28.29.36.41.46.49.51 番）である。

まず、９番（正答率は 53.33%）は、正答の「沥水（水をきる）」という動詞自体の使用頻度が低く、母語話者であっても知らない場合が多いと考えられる。９番の誤答の例には、「滤（ろ過する）」「抖（振る）」などが見られた（イラストは表３参照）。

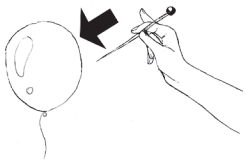
次に、11 番「速度变慢（スピードがおちる）」、27 番「污渍去除了（汚れがおちる）」、31 番「阳光照射（日がさす）」、57 番「起泡沫（泡がたつ）」は、日本語版の自動詞アイテムである。自動詞アイテムは、2.2 節で述べたように日本語の自動詞を少々強引に翻訳したものもあるため、11、27、31 番は「名詞＋動詞（SV）」の語順となっている。その結果、「名詞____」の下線部に合わせようとして、CNS は動詞より形容詞のほうが適切だと考えた可能性がある。実際に CNS の誤答には 11 番「慢（遅い）」、27 番「脏（汚い）」、31 番「刺眼（眩しい）」などの形容詞が見られた。加えて、11 番の模範解答は「变慢」の複合動詞、27 番の模範解答は「去除了」という複合動詞の上にアスペクト助詞を付け加えたものとなる。そのことにより、CNS は回答に迷ったと推察される [12)]。57 番（CNS の正答率０%）については、翻訳の際には中国語の一般的な「動詞＋名詞」の語順が可能だと考え、「起 / 出」といった動詞を使えば、対応する他動詞アイテムである 30 番と同じ「動詞＋名詞（____泡沫）」の語順のままで、日本語版の自動詞の意味に対応できると考えた。しかし、実際の CNS の回答は全て、30 番と同じ「打」「搓」などの他動詞での回答であった。これらの結果から、日本語版での自他動詞の対立のあるアイテムのうち、特に自動詞アイテムを中国語版に取り入れるのは、今の調査方法では難しいと考えられる。

その他、イラストに起因すると思われる問題も見られた。表３の 13 番（正答率 80%）については、

日本語では「はりをさす」というが、中国語では「ふうせん」に視点を置くのが一般的で、「扎针（はりをさす)」より「扎气球（ふうせんをつきさす)」のほうが自然である。今回は日本語版のテストをもとに作成されたため、日本語版のまま「____针（はりを____)」にしたが、CNS はイラストとアイテムのずれに戸惑ったと考えられる。

最後に、21 番（正答率 73.3%)、28 番（73.33%)、29 番（60%)、36 番（73.33%)、41 番（73.33%)、46 番（46.67%)、49 番（66.67%)、51 番（80%）のアイテムでは、CNS の誤答は全てイラストの解釈のずれによるものである。イラストの誤解については、日本語版でも誤答の一つの原因となっているが、中国語版では日本語版では問題となっていないアイテムでも正答率が低いものがあった。例えば 21 番について、日本語版での正答率は非常に高い（Mono 小中学生 99.4%、JSL96.9%）ため、イラストの解釈には問題はなかったと考えられるが、中国語版では「かぜを防ぐ」の意味で「防」という回答が見られた。

表３　CNSの正答率が低い一部のアイテムのイラスト

アイテム番号	9 番	13 番	21 番
イラスト			
日本語版	水を__きる__	はりを__さす__	かぜを__ひく__
中国語版	__沥__水	__扎__针	__患/得__感冒

3.3 CNS と JCL の誤答のパターン

本節ではまず、CNS の誤答の傾向について確認し、続けて JCL の誤答パターンに注目する。CNS の誤答は４パターンに分けられる（表４)。パターン①は「わからない」と回答したもので、パターン②は中国語としては自然だがイラストの描写として適切ではないものである。パターン③は中国語としては自然だが形容詞か名詞の回答であり、今回は動詞での産出を明示的に指示したテストであるため、誤答だと判定した。パターン④は中国語として違和感があるものである。日本語版でも日本語として不自然な表現が日本語母語話者に見られ、不注意などが原因だと考えられる。表４では、パターン②は例のみを示しているが、他の３つのパターンは見られた全ての誤答を示している。誤答数は<>内に示した。

表４　CNSの誤答パターンと誤答数（総回答数：70問×15名＝1,050例）

「わからない」	パターン①「わからない」<4>
	9.(沥) 水【水を (きる)】<1>　11. 速度 (变慢)【スピードが (おちる)】<1> 21.(患) 感冒【風邪を (ひく)】<1>　41.(用) 吸尘器【掃除機を (かける)】<1>
中国語として自然	パターン②イラストの解釈にずれ <80>
	方向性の間違い <18>　例：28.(穿) 裤子 →(脱) 裤子【ズボンを (はく)→ ズボンを (ぬぐ)】 動作の間違い <62>　例：13.(扎) 针 →(打) 针【針を (さす)→ 注射する】
	パターン③形容詞か名詞になっている <9>
	11. 速度 (变慢)→ 速度 (慢)【スピードが (おちる)→ スピードが (おそい)】<2> 27. 污渍 (去除了)→ 污渍 (脏)【汚れが (おちる) → 汚れが (きたない)】<1> 31. 阳光 (照射)→ 阳光 (刺眼 / 明媚)【日が (さす)→ 日が (まぶしい / かがやかしい)】<5> 65.(划) 线 →(直) 线【線を (ひく)→(直) 線】<1>
中国語として不自然	パターン④中国語として不自然 <18>
	8.(穿) 鞋子【靴を (はく)】→(系) 鞋子 <1>、11. 速度 (变慢)【スピードが (おちる)】→ 速度 (变 / 降)<4>、12. 妈妈 (送给) 孩子礼物【お母さんが子どもにプレゼントを (あげる)】→ 妈妈 (递) 孩子礼物 <1>、13.(扎) 针【針を (さす)】→(戳 / 拿、戳气球) 针 <2>、16. 往签子上 (串) 鱼【串に魚を (さす)】→(戳) 鱼 <1>、19.(系) 头巾【はちまきを (しめる)】→(必胜) 头巾 <1>、27. 污渍 (去除了)【汚れが (おちる)】→ 污渍 (洗 / 除 / 掉)<5>、33. 从椅子上 (站起来)【椅子から (たつ)】→ 从椅子上 (走)<1>、51.(发动) 汽车引擎【車のエンジンを (かける)】→(扭) 汽车引擎 <2>

注　( ) 内は穴埋めの動詞の部分、正答→誤答、【 】内は日本語訳

次に、JCL に見られた誤答パターンと誤答数を表５に示す。各パターンの誤答のうち、パターン①「わからない」は１例のみを取り上げ、それ以外は、JCL の正答率が 30% 以下のアイテムを取り上げて、誤答の具体例を示している。誤答数は＜＞内に示した。JCL に見られたパターンは、CNS と共通するパターン（①②③④）に加え、中国語として不自然な誤答は、日本語からの母語転移だと思われるもの（パターン⑥）とそうではないもの（パターン④と⑤）に分けられる。後者では､特にパターン⑤が目立ったため別立てとした。パターン⑤が見られた原因として、学習者にとって「上」「下」の用法[13]が混乱しやすいためだと考えられる。本稿では、以下のような誤答を日本語からの母語転移だと判定した[14]。

・例：「24. 树被风吹倒 (木が風でたおれる)」に対し「树被风倒了」という誤答
　日本語の模範解答「たおれる」の漢字から連想した、あるいは「たおれる」を入力して変換したと思われる。このように、少なくとも１文字を日本語版の模範解答（及びそれに対応する中国語の簡体字）から連想して、誤答を入力したもの。

・例：「20. 洗牌 (トランプをきる)」に対し「混牌」という誤答
　これは、日本語版では２文字の「きる」が模範解答だが、文字数を指定しない Mono 幼稚園児対象の調査（西川･青木、2018）では「混ぜる」も正答扱いとしたアイテムである。このように、少なくとも１文字を、西川・青木（2018）の小中学生及び幼稚園児対象の調査で模範解答以外に正答扱いした動詞の漢字（及びそれに対応する中国語の簡体字）から連想して、誤答を入力したもの。

表５　JCLの誤答パターンと誤答数（総回答数：70問×21名＝1,470例）

「わからない」	パターン①「わからない」<135>
	例：6.(盖)被子【布团を(かける)】→(わからない)<4>
中国語として自然	パターン②イラストの解釈にずれ <88>
	例：6.(盖)被子 →(放)/(蒙上)被子【布团を(かける)→(おく / おおう)】<2>、9.(沥)水 →(脱 / 排 / 喝 / 到 / 冲 / 打)水【水を(きる)→(脱水 / 排水 / 水をのむ / そそぐ / ながす / くむ)】<6>、21.(患)感冒 →(是)感冒【風邪を(ひく)→(風邪だ)】<1>、29.(上)锁 →(封)锁【鍵を(かける)→(封鎖)】<1>、30.(打)泡沫 →(出現)泡沫【泡を(たてる)→(現れる)】<1>、34.(划)船 →(开 / 坐)船【ボートを(こぐ)→(操作する / 乗る)】<7>、57.(起)泡沫 →(弄)泡沫【泡が(たつ)→(いじる)】<1>、60.(抽)签 →(拿 / 拿出)签【くじを(ひく)→(もつ / もちだす)】<2>、63.(解)扣子 →(扣)扣子【ボタンを(はずす)→(かける)】<3>、65.(划)线 →(拉)线【線を(ひく)→(糸をひく)】<3>、66.(插)旗子 →(放 / 挂 / 打)旗子【旗を(たてる)→(おく / かける / あげる)】<5>
	パターン③形容詞か名詞になっている <12>
	例：11. 速度(变慢)→ 速度(慢)【スピードが(おちる)→(おそい)】<3> 21.(患)感冒 →(发烧)感冒【風邪を(ひく)→(と熱)】<1> 29.(上)锁 →(门)锁【鍵を(かける)→(ドアの鍵)】<1>
中国語として不自然	パターン④中国語として不自然、パターン⑤と⑥以外の誤答 <289>
	例：6.(盖)被子 →(窝 / 包 / 靠 / 布)被子 <4>、9.(沥)水 →(除去 / 払 / 抓 / 甩去 / 掉)水 <6>、10.(系)扣子 →(扭 / 装 / 着 / 走 / 止 / 留)扣子 <9>、11. 速度(变慢)→ 速度(减 / 晚 / 变 / 降下 / 慢化)<8>、16. 往签子上(串)鱼 → 往签子上(扎 / 通 / 在 / 里 / 欢迎 / 挂 / 捅)鱼 <8>、19.(系)头巾 →(卷 / 结 / 圈 / 穿 / 穿上 / 滚动)头巾 <11>、20.(洗)牌 →(拉 / 交 / 里 / 到 / 乱)牌 <6>、21.(患)感冒 →(生 / 罹 / 受 / 病 / 做 / 吃 / 打)感冒 <11>、24. 树被风(吹倒)→ 树被风(西 / 飘落)<2>、29.(上)锁 →(锭 / 施 / 我 / 戴 / 键 / 定)锁 <6>、30.(打)泡沫 →(洗手 / 洗 / 擦 / 作 / 做 / 搓手)泡沫 <10>、34.(划)船 →(刮 / 里 / 兜风)船 <3>、40.(系)安全带 →(带 / 嵌 / 固定 / 持 / 安上 / 着 / 穿 / 戴 / 付 / 关 / 穿上)安全带 <16>、55. 在台阶上(摔倒)→ 在台阶上(倒 / 到 / 热闹)<6>、57.(起)泡沫 →(洗手 / 洗 / 做 / 干净)泡沫 <8>、60.(抽)签 →(选 / 拉 / 出上)签 <3>、63.(解)扣子 →(打开 / 脱 / 扣下)扣子 <3>、65.(划)线 →(写)线 <10>、66.(插)旗子 →(揭 / 穿 / 起 / 站下)旗子 <4>
	パターン⑤「上」「下」の過剰使用 <34>
	例：11. 速度(变慢)→ 速度(下)<3>、16. 往签子上(串)鱼 →(下)鱼 <1>、20.(洗)牌 →(上)牌 <1>、21.(患)感冒 →(上)感冒 <1>、24. 树被风(吹倒)→ 树被风(下)<1>、55. 在台阶上(摔倒)→ 在台阶上(摔下)<1>、60.(抽)签 →(上)签 <2>、63.(解)扣子 →(上 / 下)扣子 <2>
	パターン⑥母語の転移だと思われる誤答 <196>
	例：6.(盖)被子【布团を(かける)】→(挂)被子 <7>、9.(沥)水 →【水を(きる)】→(切)水 <4>、10.(系)扣子【ボタンを(かける)】→(挂)扣子 <2>、11. 速度(变慢)【スピードが(おちる)】→ 速度(落下)<1>、16. 往签子上(串)鱼【串に魚を(さす)】→ 往签子上(刺)鱼 <3>、19.(系)头巾【はちまきを(しめる)】→(着)头巾 <2>、20.(洗)牌【トランプを(きる)】→(切 / 混)牌 <3>、24. 树被风(吹倒)【木が風で(たおれる)】树被风(倒 / 倒了 / 到了 / 倒一下)→<16>、29.(上)锁【鍵を(かける)】→(闭)锁 <3>、30.(打)泡沫【泡を(たてる)】→(起)泡沫 <3>、34.(划)船【ボートを(こぐ)】→(漕)船 <6>、55. 在台阶上(摔倒)【階段で(ころぶ)】→ 在台阶上(転 / 滑 / 滑落 / 落)<9>、60.(抽)签【くじを(ひく)】→(引 / 引起 / 取出)签 <7>、63.(解)扣子【ボタンを(はずす)】→(外 / 开 / 关上)扣子 <6>、65.(划)线【線を(ひく)】→(描 / 書)线 <2>、66.(插)旗子【旗を(たてる)】→(上 / 建 / 立 / 差 / 刺)旗子 <6>

注　正答→誤答、( ) 内は穴埋めの動詞の部分、【 】内は日本語訳（パターン④と⑤は表２参照）

CNS と JCL の誤答で共通するパターンのうち、イラスト解釈に関連するパターン②については、CNS には 29 アイテム、JCL には 33 アイテムに見られたが、その中で CNS と JCL に共通するのは 16 アイテムである。3.2 節で述べたように、中日の言語の違いなどに起因する問題もあると考えられる一方、JCL の場合はイラストが正確に解釈できても中国語の知識不足により正答できなかった可能性も高い。

4．まとめと今後の課題

本稿では、西川・青木（2018）の日本語のコロケーションテストを中国語に翻訳し、CNS と JCL を対象にパイロットテストを実施した。本稿の調査の結果から、中国語版テストの問題点を具体的に例示することができた。全部で 70 のアイテムのうち、CNS の正答率が高いアイテムが 56 あった。これらのアイテムについては、中国語版テストのアイテムとして使用可能であると考えられる。

しかし、「1．はじめに」で述べたように、語彙化（Umbel et al., 1992）や翻訳語の問題（Pearson,1998）もあり、２言語で完全に対応する語彙テストを作成することは容易ではない。本稿の調査でも 14 のアイテムで CNS の正答率が低かった。その中には、日本語版では正答率が非常に高いアイテムもあり、語彙化や翻訳語にも関連した問題と考えられる。例えば、日本語版の自動詞を中国語で回答することが困難だったアイテムである（3.2 節参照）。また、日本語版では見られなかったイラストの解釈に起因する誤答も見られた。

以上のような結果を踏まえ、JSL の子どもを対象とする今後のテスト開発に向けては、CNS の正答率が低かったアイテムを中心に、以下のような調整や修正が必要だと考える。

まず、自動詞アイテムの調整である。例えば、自動詞アイテムを他動詞アイテムと並べで回答させるような調整が考えられる。日本語版テストでは、イラストの違いに加え、助詞「が」あるいは「を」が提示されているため産出すべき動詞の自他が明確であるが、中国語版では同じようにはできない。そこで、対の他動詞アイテムがテストに含まれている場合は、アイテムの提示順番を変えて、「57. 泡がたつ」と「30. 泡をたてる」を並べて出題したり、対の他動詞アイテムがテストに含まれていない場合は、対の他動詞アイテムを追加したりする対応が考えられる。例えば、11 番の「スピードがおちる」に対して「スピードをおとす」を追加する、27 番の「汚れがおちる」に対して「汚れをおとす」を追加する、などである。ただし、中国語で日本語のような自他動詞の区別がないのであれば、中国語版テストに無理に日本語版の自動詞アイテムを含める必要はないとも考える。

次に、誤解を防ぐためのイラストの調整である。日本語版でもわかりにくかったイラストのアイテムは削除や修正が必要だが、中国語版のみでの対応を考えるべきイラストがあることも今回明らかになった。例えば、13 番「針をさす」と 21 番「風邪をひく」が挙げられる。

また、日本語からの転移についての判断も再検討の余地がある。今回は、客観性を保つために、3.3 節に示した基準で母語転移であるかどうかを判断したが、実際には、他にも母語転移と考えられる回答例が少数ながら見られた（例：10 番「* 止 / 留扣子（ボタンをとめる）」←正答：「系扣子（ボタンをかける」）。さらに、今回、母語転移であると判断した誤答の中にも、転移であることが明確な例（70 番「* 切紙」←正答:「剪紙（紙をきる）」）もあれば、日本語からの連想で答えている母語転移なのか、あるいは中国語の知識不足なのか判断に迷う例（24 番「* 树被风倒」←正答：「树被风吹倒（木が風

でたおれる)」）も見られた。中国語と日本語で共通する漢字があることを踏まえた上で母語転移の判断方法を改善することも、今後の課題の一つである。

そして、テストの実施方法も検討すべきである。複数言語・複数文化の下で成長する JSL の子どもの背景や環境は多様であり、その言語能力も多様である。継承語話者として、４技能においてその言語の母語話者と同じ程度、年齢相応の力を持つケースもあれば、話すことは申し分ないが読み書きは苦手、聞いて理解することはできるが産出は難しいなどのケースもあるだろう。そのため、継承語話者の子どもに対して中国語での筆記テストの実施は難しい場合も考えられる。口頭調査は、日本語版でも幼稚園児を対象に実施をしているが（西川・青木、2018, pp.58-60）、今回の中国語版テストと同様に動詞の一部の文字や文字数の指定をしていないため、想定された動詞の産出を十分に誘導することができていない。中国語での口頭調査の際には、今回の中国語版テストの実施で得られた回答例や、日本語からの転移の判定方法が参考になるだろう。また、実施の負担を考え、今回の結果をもとにアイテム数を絞り込むことも考えたい。さらに、JSL の子どもたちの多様な言語背景を考慮すれば、中国語以外の言語でのテスト開発の可能性についても考えるべきであろう。

最後にもう１つ課題を挙げたい。本研究では、バイリンガルの子どもの言語能力を正当に評価するためには、二言語能力を総体として捉えるべきだと考えている。西川・青木（2018）のテストは、個人が持つ日本語での全体的な語彙力を捉えるためのテストではなく、JSL の子どもが日本語では知らない可能性のある語をピンポイントで調査するためのテストである。西川・青木（2018）では、十分な日本語の会話力を身につけながらも、Mono の子どもにとっては簡単な和語動詞を使いこなせていない JSL の子どもの存在が報告されている。ただし、バイリンガルの子どもが使用場面によって言語を使い分けていること自体は自然なことであり、そのことによって JSL の子どもの語彙に偏りがあるのも自然なことである。西川・青木（2018）では、母語・継承語での調査は行っていないため、日本語の動詞を知らなかった子どもが母語・継承語ではその動詞を知っているかどうかは明らかになっていない。この場合、JSL の子どもに知っていてほしいのは、必ずしも特定の日本語に対応する母語・継承語の訳語ではなく、同じ状況を母語・継承語で表現できる言語的手段である。例えば９番「水をきる」の中国語「沥水」という表現がわからなくても、「控干水分」などの表現で「水をきる」状況を表現できるかどうかである。そのことを踏まえた上で、中国語版テストを開発する必要があると考えている。JSL の子どもが日本語に知らない語（動詞）がある場合、その動作や状況を表現する手段を母語・継承語で持っているか否かによって、日本語の語彙力不足がバイリンガルとしては自然な結果なのか、それとも、重大な言語的課題を抱えているのか、西川・青木（2018）で得られた結果の意味が大きく変わってくると考える。

付記（補助金）

「日本に定住･長期滞在する子どもの第二言語としての日本語能力に関する研究」2017 ～ 2021 年度、科学研究費・基盤研究 C、17K02846、研究代表者　西川朋美

注

1）SOV 語順の日本語では、名詞と動詞のコロケーションは、動詞の自他にかかわらず「名詞＋動詞」（例：ドアが閉まる／を閉める）の順だが、SVO 語順の中国語では「動詞＋名詞」（例：水を飲む→喝水）となり、一部の自動詞では「名詞＋動詞」（例:花がさく→花开了）の場合もある。以下、本稿では単に「コロケーション」と呼ぶ。

2）西川・青木（2018, p.3）は、母語・第一言語を習得の順序で定義している。
3）De Houwer（2021, p.55, #11）は、バイリンガルとして育つ子どもの多くが 11 歳ごろには、マイノリティ言語の能力を失ったり、限られた能力しか持たなくなったりすることを指摘している。実際に西川・青木（2018, p.82）の調査対象の子どもの中にも、日本語のコロケーションテストの結果が低いにもかかわらず、家庭言語は日本語である（≒母語ができない）子どもの存在が報告されている。
4）語彙力は、語彙以外を含めた全体的な言語能力の目安と捉えられることもある（Pearson, 1998, p.348）。
5）本稿では、テスト作成時に想定していた正答を模範解答と呼ぶ。日本語版テストの模範解答は１つ、中国語版は複数の翻訳が考えられた場合には、複数の模範解答がある。
6）中国語版テストの作成・採点にあたっては、筆者の一人（中国語母語話者）を中心に作業を行った。以下筆者と表記する。
7）本稿では、CNS と JCL の結果の数値的な比較は目的としていない。JCL については、母語転移を含めた誤答の傾向の確認が目的であるため、参加者の中国語レベルは問うていない。
8）漢語水平考試（HSK）は中国政府公認の世界共通の中国語資格であり（https://www.hskj.jp/about/）、最高位は６級である。中国語検定試験（中検）は主に日本語を母語とする中国語学習者を対象とするものであり（https://www.chuken.gr.jp/tcp/outline.html）、最高位は準４級である。
9）リンク先には、「語順・前置詞・補語テスト」という西川・青木（2018）の助詞テストに対応した中国語テストもあったが、本稿ではコロケーションテストのみ報告する。
10）変換ミスとは、例えば、模範解答「坐 (zuo)」に対して「座 (zuo) 在椅子上（椅子にすわる）」のようにピンインが同じ漢字の変換ミスである。日本語でも同じように、読みが同じ漢字の誤変換が見られた。
11）筆者は河北省（北）、その他の２名は上海市（南）または江蘇省（南）の出身である。
12）模範解答とした複合動詞の一部のみの「变（変わる）」「除（除く）」などのような回答が見られた。そのような回答は中国語として不自然であることから今回は誤答だと判定した。
13）中国語での「上」「下」は、位置を表す名詞や動詞（例：「29. 上锁（鍵をかける）」「下车（車をおりる）」）以外、方向補語（「飞上天（空へ飛び出す）」）や時間を表すもの（「上次（前回）」「下次（次回）」）などとしても使われる。
14）判定作業として、日本語版（西川・青木、2018）をもとに筆者の一人が判定して、その後もう１人の筆者が母語転移と日本語の誤変換の可能性についてのダブルチェックを行った。

引用文献

岩淵悦太郎・村石昭三編（1976）『幼児の用語—用例集—』日本放送出版協会
櫻井千穂（2019）「対話型言語能力アセスメント「DLA」の有用性」近藤ブラウン妃美・坂本光代・西川朋美（編）『親と子をつなぐ継承語教育—日本・外国にルーツを持つ子ども』（pp.238-252）くろしお出版
西川朋美・青木由香（2018）『日本で生まれ育つ外国人の子どもの日本語力の盲点—簡単な和語動詞での隠れたつまずき—』ひつじ書房
De Houwer, A. (2021). *Bilingual development in childhood.* Cambridge University Press.
Pearson, B.Z. (1998). Assessing lexical development in bilingual babies and toddlers. *International Journal of Bilingualism, 2*(3), 347-372. https://doi.org/10.1177/136700699800200305
Skutnabb-Kangas, T. (1984). *Bilingualism or not: The education of minorities*. Multilingual Matters.
Umbel, V.M., Pearson, B.Z., Fernández, M.C., & Oller, D.K. (1992). Measuring bilingual children's receptive vocabularies. *Child Development, 63*(4), 1012-1020. https://doi.org/10.2307/1131250
Valdés, G. (1995). The teaching of minority languages as academic subjects: Pedagogical and theoretical challenges. *The Modern Language Journal, 79*(3), 299-328. https://doi.org/10.1111/j.1540-4781.1995.tb01106.x